

10N064_食道_FP+テビムブラ_3週毎

FU(Day1-5) + CDDP(Day1) + Tislelizumab(Day1) 3週毎

◆ _____月 _____日(Day1)から _____コース実施。(外来で実施・入院で実施)

◆ 免疫チェックポイント阻害薬導入時は「投与前スクリーニングセット検査」が必要です。

◆ 検査が実施されない場合、がん化学療法の実施は認められません。

Rp	商品名	用量[基準量]	投与方法	Day0	1	2	3	4	5	6	7
1	生食注(50mL)	1 瓶	div / 15min		●						
2	生食注(50mL) テビムブラ点滴静注	1 瓶 _____mg[200mg/body]	div / 1hr ※		○						
3	生食注(50mL)	1 瓶	div / 15min		●	●	●	●	●	●	
4	生食注(1リットル) フルオロウラシル注	1 袋 _____mg[800mg/m2]	div(メイン) / 24hr		○	○	○	○	○		
5	生食注(1リットル) 硫酸Mg補正液1mEq/mL	1 袋 8 mEq	div(側管) / 4hr		●						
6	生食注(50mL)	1 瓶	div(側管) / フラッシュ		●						
7	パロセトン注バッグ0.75mg/50mL アロカリス点滴静注235mg デカドロン注射液1.65mg	1 袋 1 瓶 6 A	div(側管) / 30min		●						
8	生食注(50mL)	1 瓶	div(側管) / フラッシュ		●						
9	テルモ生食(500mL) シスプラチン注	1 袋 _____mg[80mg/m2]	div(側管) / 2hr		○						
10	ラクテックG輸液(500mL) フロセミド注射液20mg	1 袋 0.5 A	div(側管) / 2hr		●						
11	生食注(100mL) デカドロン注射液1.65mg	1 瓶 4 A	div(側管) / 30min			●	●	●	●		
12	ヴィーンD輸液(500mL)	1 袋	div(側管) / 5hr			●	●	●	●		
13	ソルデム3A輸液(500mL)	1 袋	div(側管) / 5hr			●	●	●	●		

※ テビムブラ注は忍容性良好であれば、初回(1hr)、2回目以降(30min)で投与可。

- ・ テビムブラ注の投与にあたっては、インラインフィルター(0.2又は0.22 μ m)を使用すること。
- ・ テビムブラ注の希釈後の濃度は、2~5mg/mLとなること。